

J PREP

齊藤塾

目指すなら世界の頂点



日本の将来、世界の将来を担う皆さんへ

経済、社会が世界化するなかで、英語が国際語としての地位をますます強固にしています。これは好むと好まざるとにかかわらず、これから受ける英語教育の善し悪しが、皆さんの将来を左右してしまうことを意味します。中高一貫制校の受験が終わって、目指すは医学部や東大と考える方も多いでしょう。しかし、医師として、官界や経済界のリーダーとして活躍するキャリアを考えるのであれば、なおさら世界に通用する英語力を持っているかどうか、決定的に重要になってきます。医師や大学教員として研究の最先端にたった場合、その成果を発表する言語はほとんど全て英語という時代になっています。官界で活躍する場合、どの省庁に就職したとしても国際交渉の最前線で英語を駆使する必要があります。ビジネスの現場に立っても、少子高齢化の影響で縮小が続けることが予想される国内市場だけではなく、広く世界にマーケットを求めていかなければならない時代です。

私たちは、ともすれば今日の延長線上に未来があり、私たちが今幸せだと考える価値観が、未来の価値観とほぼ一致すると思いがちです。また、そうあって欲しいと思うのが自己保存本能です。しかし社会の変化は、我々の想像を超えるところで起こっています。

J PREP(ジェイプレップ) 斉藤塾とは

J PREP では、大学受験や留学に必要な不可欠な英語力を効率的に身につけるカリキュラムを提供しています。話す、書く、聴く、読む、これらのスキルを総合的に習得するだけでなく、論理的に考え、表現する作業を繰り返すことによって、言葉そのものへの理解を深めていきます。単に正解を覚えるだけのお勉強だけではなく、考え抜き、表現することで、異なる意見や価値観を持つものと話し合うことを通じて学ぶ、真に世界に通じる学問を希求する生徒に開かれた場、これがJ PREP です。

海外留学、東大受験どちらも万全です

●国内大学入試へのTOEFL導入が既定路線となっています。

●TOEFLでは、話す力、書く力が得点に直結します。

●J PREPでは日本の中学高校に通いながら、TOEFL iBT110点、SAT2200点を狙う指導をします。

●海外一流大学留学に必要な英語力を身につければ、東大をはじめとする国内難関大学の入試英語で満点を狙うことも十分可能です。

●東大入試へのTOEFL導入が議論されている今、むしろ最初から留学を意識した学び方が効果的です。

●大学入学後の留学、就職後の留学・海外勤務を考えるなら、最初から本物の英語を学んでおくべきです。

●国内大学受験クラス(レベル7B)は、東大受験指導で豊富な経験を持つ講師が担当します。

●海外一流大学を目指す生徒には、早い時期から受験戦略のアドバイジングを提供します。単なるテスト対策ではなく、学問とは何か、今後の世界はどうなるのか、どう生きるか、共に考える素材を提供する指導です。

少人数で切磋琢磨、個別指導よりもきめ細かく

●全クラスが20人以下

平均して15人以下で、英語を母語とする講師と日本語を母語にする講師が交代で授業を担当します。

●きめ細かな発音指導

レベル1からレベル3まで音声指導が付きまします。毎日の録音課題に対して、発音矯正指導のフィードバックが行われます。

●英語で発言、議論するのは当然

自発的に発言し、議論するのが当たり前の授業を行っています。受け身で講義を聴くだけの、日本の授業スタイルとは違います。

●毎回の授業で英語論文を執筆

毎回の授業で作文指導を行っています。受験用和文英訳ではなく、論理的な英文を簡潔にまとめるための作法、日本語とは異なる論理展開の方法を丁寧に指導します。

優秀な講師陣

●日本人専任講師は全員、英米の大学や大学院を卒業しています。講師の出身大学はイェール大学、コロンビア大学、ペンシルバニア州立大学などです。講師には博士号取得者、TOEFLやTOEICではほぼ満点取得者も珍しくはありません。

●英語を母語とする講師は、厳しい選抜を経て採用しています。これまで数百通の応募の中から、経験豊富で優秀、意欲的な講師を採用してきました。講師の出身大学はオックスフォード大学大学院、ロンドン大学、スキッドモア大学等です。

代表プロフィール 斉藤 淳(さいとう じゅん)

J PREP 斉藤塾代表、元イェール大学政治学科助教授。1969年山形県酒田市生まれ。上智大学外国語学部英語学科卒業(1993年)、イェール大学大学院政治学専攻博士課程修了、PhD(2006年)。ウェズリアン大学客員助教授(2006-07年)、フランクリン・マーシャル大学助教授(2007-08年)を経てイェール大学助教授(2008-12年)、高麗大学客員助教授(2009-11年)を歴任、2012年4月に帰国、英語塾口ゴス代表として起業。イェール大学助教授時代はセイブルック寮の舎監も務め、3年間にわたって学生と寝食を共に過ごす。これまで各大学で「日本政治」「国際政治学入門」「東アジアの国際関係」などの授業を英語で担当した他、衆議院議員(2002-03年、山形4区)をつとめる。

研究者としての専門分野は日本政治、比較政治経済学。主著「自民党長期政権の政治経済学」により第54回日経経済図書文化賞(2011年)、第2回政策分析ネットワーク賞本賞(2012年)をそれぞれ受賞。TBSラジオで選挙解説なども担当。J PREPでは、全体の統括に加え、教材開発、授業、進路指導の他、新規入塾生に対する個別指導も担当。



受講生の声

英語学習歴わずか半年の小6生が英検準2級に合格したり、普通の高校生がアイビーリーグに合格しています。

J PREP は子ども達の可能性を最大限に開花させることが使命であると考えています。

英検準2級に合格

僕は先日、英検準2級に合格しましたが、これは普段の宿題のお陰だと思います。中でも、英文を口に出して覚えるシャドーイングが効果的でした。また、わざわざ時間を作って対策を下さったこともあり、ほぼ満点で合格しました。自由に意見を交換できたり、外国の生活や習慣など色々なことを学べる点や、学年に関係なく、将来に役立つ英語を中心に学習するところが、J PREP の最大の利点だと思います。

(公立小学校6年 レベル1 在籍)

学校では学年十番以内に

J PREP に中3で入塾して、約一年が経ちます。通い始めてから学校の英語の成績は上昇し、安定しています。模試では、学校で学年十番以内に入っています。J PREP ではエッセイを書く際に、自分の意見を論理的に述べる事が求められます。入塾するまでそのような事を全くやった事なかった私にとって、考え、かつ論理的に自分の意見を述べるための良い訓練になっています。またディスカッションも、学校では行うことがないので魅力的です。私は自分の意見を発表することが苦手で、かなり苦戦していますが、他の生徒が発言するのを聞くと悔しくなり、なお一層が頑張ろうという気持ちになります。クラスの生徒は皆大変優秀で、良き友達であり且つ、良きライバルです。

(東洋英和女学院高等部1年 レベル4 在籍)

少人数で指導を受けることができる

J PREP に入塾したきっかけは、学校の英語についていけなくなってきたからです。しかし大手の塾に入っても学校と変わらないのでは…と考え個人塾であるこの塾を選びました。J PREP では学校や大手塾と違い、少人数で指導を受けることが出来ます。発音、文法、文章のコツなど様々な面からの一人一人に合わせた指導を受けた結果、学校のテストでは学年十位以内に入りました。またネイティブの先生と深く話すことが出来るのはここだけで、将来留学するとき必ず役立つと思います。ユニークな先生方と指導法を是非体験してみてください！

(筑波大付属駒場中学校3年 レベル4 在籍)

人間としての成長ができる場

一年間のアメリカ高校留学を終え、米大受験をするという意志とともに帰国した僕でしたが、具体的にどのような方針で進むべきか分からず悩んでいました。他塾ではなくJ PREP を選んだ理由は、お会いした先生方が自分のことを本当に親身になって考えて下さっていると感じたからです。

留学準備の授業は1対1で行っていますが、TOEFL や SAT 試験対策のアドバイスは、具体的かつ的確です。かといって、授業は堅いわけではなく、先生にいつも気軽に質問できる環境が備わっています。

また授業外の先生方とのやりとりは、自分の考えを整理するきっかけとなり、また、新たな視点を与えてくれます。だからJ PREP は、単に英語力向上を目指す場だけでなく、人間としての成長ができる場だと実感しています。

(都内高校2年男子 レベル5 留学準備個別指導)

海外大学の受験という選択肢が見えてきた

この塾に通わせていただき、半年が経ちます。毎週、多くの、楽とは言えない課題をこなしているうちに自然と中高五年間を通して学校で学んできた英語とは比べものにならないほど、聴く、理解する、伝えるという英語を使う能力が身についてきたことを実感しています。先生方によって選ばれた教材を通じ、批判的な視点も交えて自分なりの意見を持つようになるという意味で、自分の考え方も成長したと感じます。課題や授業に真剣に取り組み、クラスに貢献できたときは嬉しくて、益々やる気になります。毎回の授業が楽しくて仕方がありません。

海外大学の受験という、海外に住んだ経験のない私には絶対無理だと考えもしなかった選択肢も見えてきました。自分に一番あっていると思える道を見つけることができたと思います。学校の同級生とは全く違う進路であり、学校の先生方にも馴染みのない道であるので、何をしたら良いのかも分からず、不安なことも多いですが、プロである先生方に、私の実力に合わせて指導を頂いているので本当に心強く思っています。

(立教女学院高校2年 レベル5 在籍)

偏差値が60から70に

私はJ PREP に入塾して、模試の英語の成績が飛躍的に伸びました。偏差値60くらいだったものが約8か月の通塾により、70まで上昇しました。第一志望である東京医科歯科大学も含め、今まで合格評価がCからDだった全六大学での評価がすべて最高評価のAになりました。さらに自分自身もそうですが、日本人特有の「自分の意見を述べることができない」という問題も、通っていくうちに少しずつ克服してきたように思います。英語で話す際に先生が発音の間違いを指摘するので自然と発音もよくなりました。様々なテーマでエッセイを書いたりもするので、英語だけでなく現在の社会情勢なども共に学ぶことができます。他の塾とは全く違う指導法で、単なる言語としての英語を超えたものを学ぶことができます。

(三輪田学園高校2年 レベル4 在籍)

卒業生訪問

自分の興味を限定せず、
自分には可能性があると思って

齊藤 古賀さんは半年東大で過ごしてからイエールに移りましたが、授業を比較するとどうですか？理系は駒場でいろいろ詰め込むと聞きますが。

古賀 はい、大変でした。選択できる科目数は東大の方が多かったです。数学、生物、化学、物理と、皆が全部取る感じで、理系の勉強は東大にいたときの方が割合が高かったです。東大は自分で勉強して、講義を聴いて、分かなければ質問するスタイルで、学生の自主性が問われます。イエールは丁寧に階段を上っていく授業で、宿題を全部やらないと絶対ついていきません。ただ、着実に知識が身につくことを実感します。

齊藤 今学期はどのような授業を取っていますか？

古賀 有機化学入門、有機化学実験実習、中国語中級、英語です。英語は必修で作文の授業を取らなければならないからです。作文といってもテーマが分かれていて、私が受講しているクラスは「絶滅」に焦点を当てています。動植物だけでなく言葉の絶滅など、抽象的なものから具体的なもので扱うので楽しいです。



Yale University イエール大学
全米を代表する総合大学。
ハーバード、プリンストンと並んで常に全米ベスト3に数えられる。コネチカット州ニューヘイブン市に位置し、学部生 5,400 名、大学院生 6,300 名。

齊藤 化学はイエールで一番難しい専攻だと聞きます。それでも果敢に挑んでいくようにしていますね。

古賀 難しいかとはともかく、良い成績がとりにくいんです。有機化学も一学期間取って気に入りましたし、化学専攻で行く予定で。

齊藤 米大理科系の基礎教育は、分厚い教科書を使って、組織的に短期間につめこむ印象があります。東大は日本型の、宿題をたくさん解く方式だと聞きます。

古賀 確かに、一回の授業で読む範囲は東大の方が多かったように思います。問題の難易度も東大の方が高いように思います。有機化学は東大では受けていないので正確な比較ではありませんが、東大では、教授の関心や研究について、教科書にないことを講義することも多々ありました。特に発展的なことに興味がある人は、東大の授業が興味を満たす部分もあると思います。イエールの化学の授業で好きな点は、教授が全部丁寧に説明して、反応の仕組みなども黒板に全部書いて、分かっているか確認しながら進んでくれることです。

齊藤 日本の大学は批判されることも多いけど、主體的に選んで授業をとって組み立てていけば、いい教育が受けられると思います。

古賀 自分がどう計画するか、意欲を維持できるか次第だと思います。

齊藤 中国語は以前から勉強していたのですか？日本人は漢字が分かる利点はあると思いますが、イエールの語学は、ひたすら学生に話させる授業ですよ。

古賀 中国語は東大で半年勉強して、イエールの中級に編入しました。授業中はずっと中国語で話しています。作文や読解は、自分で宿題として勉強するスタイルです。漢字は助かっていますが、音を聞いてすぐ覚えるという点ではこちらの学生の方が速いです。私は漢字を当てはめ、意味を考え・・・というクセがあります。

齊藤 日本から留学してきた修士課程の



古賀 祐海さん

(聖心女子学院高等科→東京大学理科I類→イエール大学)

院生が、中国語の授業を一年受講して、帰りの飛行機で中国の映画を視たら七割分かったと言っていました。

古賀 進度が凄く速いです。中国人観光客の会話を聞いて、大体わかったりするに嬉しいんです。東大では必修の授業は文法中心でしたが、会話や聴き取りの授業も選択で取りました。東大でも選択肢はありますよ。

齊藤 古賀さんの場合は、イエールを選んだ理由は音楽だと思うのですが、どうですか？

古賀 今は単位目的でない方のレッスンを受講しています。他に寮のオーケストラで演奏しています。東大でもオーケストラに入っていました。演奏の機会と、自分の技術を磨くレッスンと、両方出来る環境が欲しかったので、イエールには満足しています。

齊藤 同級生をみていて、学生気質の違いを感じてはありますか？

古賀 イエールは、みんな積極的です。東大の学生と一括りに言うことは難しいですが、理系のクラスでは、科目毎の好き嫌いがいる人が多い印象でした。イエールでは「この科目は絶対やりたくない」とか言わずに、皆「何でも好き」って言うんです。

齊藤 日本は文系・理系という型に当てはめている学生が多いのかな？最後に、留学を考えている高校生にメッセージをお願いします。

古賀 自分の興味を最初から限定しないで欲しいです。苦手でも好きなことって絶対あると思うし。可能性を閉ざさないでほしい。例えば志望動機書を書いているときでも、自分はここがダメだと思ってるのではなく、自分には可能性があると思ってる、もう一度見つめなおすことです。留学してから楽しめるかどうかは、自分の能力をどこまで伸ばせるか次第だと思います。国内大学と併願する人は、留学の願書を出すまでは、そちらに集中した方がよいということです。

齊藤 同時進行でやるよりも、フェーズを区切って集中しないとダメですね。

古賀 両方に集中するって私には無理だったんです。基礎的な勉強とか、学校の成績を保っておくということは必要なんです。東大については受験勉強らしい受験勉強はアメリカの出願がおわった後でした。留学の願書を書いている間は、他のことを心配せずに集中して、結果を出したほうが良いです。

卒業生訪問

自分の好きなことを
もっと追求すると開けてくる

斉藤 野田さんは東大に半年間在籍してからスワースモアに入学したわけですが、端的に比較してどうですか？それぞれに違った意味での良さがあると思いますが。
野田 学問を探究する点で、スワースモアは充実していますが、人数の違いが大きいと感じます。特に一年生の最初の一学期だったので、東大は百人、二百人入るような大教室での授業が中心でした。私が今学期ここで受けている授業では、一番大きな情報科学の授業でも、受講生は三十人位です。最も小規模なものは三人です。

野田 受講生三人というのは、英文学の「紀行文」というクラスですが、今一番楽しい授業です。一口に紀行文とは言っても、様々な種類があることに気付かれます。最初は帝国主義時代のイギリス人がエジプトを旅行したものから読み始めたのですが、一番最後はグローバル時代の旅行のあり方について考えていきます。
斉藤 日本だとイザベラ・バードをはじめ明治初期に有名な紀行文がありますね。
野田 はい。特に楽しいと感じるのは、古い紀行文そのものに新しい視点を見つけていることができるだけでなく、授業で討論していく中で、同級生の見方から学ぶことが多いことです。しかも学生三人、教授一人の授業ですから、文献を深く読み、あらかじめ自分なりに考え抜いていないと授業についていくことが出来ません。

斉藤 コンピューターの授業はどうですか？
野田 週二回の授業に加えて、パイソンというコンピュータ言語を使ってプログラムを作る宿題が出ます。毎週四時間か



野田 百詠子さん

(桜蔭高校 → 東京大学文科I類 → スワースモア大学)

けてプログラムを一つ提出しています。「あ、私プログラミングができるようになってる！」という感動がありますね。
斉藤 パイソンは科学技術計算に強いことで有名ですね。J P R E P でもパイソンを学ぶコースを開講する準備をしています。哲学はどうですか？
野田 政治思想はプラトンから始まり、マルクスを読み、ようやく現代に辿り着いたところです。実はこの授業が一番、英語という意味では難しいです。
斉藤 かなり進度が速いですね。
野田 別の哲学の授業は、まだ入門編なんですけど、これもプラトンから始まって、今はカント、という形で一学期の間に様々な思想について学んでいます。
斉藤 米国の高校では、大学進学課程に必ずといって良いほど、古典を読むクラスがあります。野田さんと同じ授業を取っている学生には、既に一度こうした古典を読んだことのある人が相当数いるのではないのでしょうか。
野田 実際、古典に詳しい学生が多いです。
斉藤 授業外ではどんな生活ですか？朝起きてから寝るまで勉強しているとか？
野田 今学期は勉強に専念です。最近ジムに行ったり走り始めました。授業は午前中に集中しているので、午後は図書館で勉強です。
斉藤 カリキュラムはどうなっていますか？
野田 私は日本語が母語なので外国語は必修ではありませんが、通常は外国語が必修です。他に人文学、社会科学、自然科学からそれぞれ最低でも三科目ずつ履修すると、作文指導を受けることが要求されています。私の場合は、哲学が論文指導込みの授業です。
斉藤 東大も含めてたくさん他の大学にも受かって、最終的にスワースモアを選んだわけですが、改めてここに来てよかったと思いますか？

野田 はい。校風が私にあっていていると思います。
斉藤 一言でいうとどんな学校ですか？
野田 自分の好きなことに対して熱心ですね。他の学校に比べると、特に勉強熱心です。みんな目を輝かせて話すんです。食堂で食事をしていても、隣から「論文だけど、どんな感じ？私はこんなテーマで、こんなことを書いて、こんな風にしようと思うんだけど」と話しているのが聞こえてきます。
斉藤 今から留学を考える中高生にアドバイスがあるとしたら、何ですか？
野田 自分の好きなことを学校内、学校外にかかわらず、もっと追求するというのが開けてくると思います。私は受験のときは受験のことで精一杯で、留学でスワースモアに来てやっと、「私が本当に好きなことはなんなんだろう」とって恥ずかしながら考え始めています。でも、もっと早いうちから考えていても良かっただろうと思いますね。

Swarthmore College スワースモア大学
全米を代表する小規模教養大学(リベラル・アーツ・カレッジ)。ウィリアムズ、アマーストと並んで常に全米ベスト3に数えられる。ペンシルバニア州フィラデルフィア郊外に位置し、学生数約1,400名。



対談

日本の若者に期待する

浜田 宏一 内閣府参与、イエール大学名誉教授、東京大学名誉教授
斉藤 淳 J PREP 代表、元イエール大学助教授、元衆議院議員

斉藤 ここ二十一年間にわたってのデフレ不況によって、日本は若者にとって暮らしにくい国になってしまいました。先生は安倍首相のブレーンとしてアベノミクスを主導し、経済を元気にするために頑張っています。私も日本全体が復活するためには教育を変えなければならぬと思います、起業しました。日本と世界の未来を見つめて、先生から若者に対して激励の言葉を頂きたいと思っています。

浜田 斉藤さんも日経・経済図書文化賞を受賞してイエールでも優秀な研究者として期待されていたのに、日本に帰られたのは残念です。ただ大学人というだけでは社会を変えることは難しいです。僕の場合は本が売れたりしたので、十年前よりはずっと話を聞いてもらえるようになりましたが、斉藤さんは衆議院議員を経験し、日本の社会を知っていて、しかも外国の事情も知っていますので、若者の教育という非常に重要な側面で力を発揮できるというのは、喜ぶべきことで僕に出来ることがあったら大いに応援したいと思っています。

斉藤 ありがとうございます。光栄です。さて先生からご覧になって、最近の日本の若者の印象はどうでしょうか。

浜田 日本人の学生と話をすると、礼儀正しいけれども、何を考え、何がしたいかというのが伝わってこないですね。

斉藤 最初から正解を尋ねてくるような学生が多い印象です。研究というのは答えが自明ではないことを問いかける作業ですので、答えが決まったことばかり学んできた日本人にはつらい側面があるのかなと思います。

浜田 受験勉強の悪い面が出ていますね。もちろん受験勉強のいい面というのもあるのですけれど。

斉藤 一方で米大学の先生方と話をすると、米国人学生もおとなしくなったと聞きます。

浜田 そうなんです。二十年前は講義の三分の二を用意していけば、残りの時間はさまざまな質問が出て、それに答えていくような感じだったのですが、今は準備していったものが終わっても、あまり質問が出てこないような状況です。

斉藤 冷めた若者気質というのは、日米共通であるのかもしれないですね。

浜田 大学というのは、問題を見つけるところが一番面白いわけですが、これがあまり理解されていない。学問をやっているに何らかの意味でわかっていく喜びがあるというのが重要です。今のうちに教科書を覚えて、「乗数効果」というのが何か」とりあえず知っていることがマクロ経済学であるという教育方法では、デフレの続く現状には太刀打ちできないと思います。それだけでなく「今、経済学ではこれをやるべきだ」というのが現実社会の動向とは無関係に、学界の流行で決まってしまい、これに乗らないと教員として採用されない風潮があるのではないかと懸念します。

斉藤 昔は「早くテニユア（終身在職権）」をとって、自由に発言できる立場になれ」と言われましたが。

浜田 雑誌に論文が採用されることばかり考えてしまいがちで、現実の経済メカニズムの視点で考える人が少なくなりました。昔も学界の世渡りに2、3割の労力は使っていたけれども、今はそれが7割になってしまっています。

斉藤 学問の世界も役所のように組織の

論理が幅をきかせていますね。

浜田 アベノミクスは、金融政策でデフレや不況から脱出できるという考え方で、一方で実物的景気循環論の立場に立てば金融政策は効果がないという結論になります。日本の学者は、学問の権威に縛られすぎていると思います。自己弁護ではありませんが、東大では僕は授業の準備に関して怠り者で、講義でも頭が浮かぶことをどんどん言ってしまう評判が悪かったのですが、良かったと思うのは、ゼミの学生に何でも思ったことを言わせたことです。僕のゼミで育った人は皆、役所や会社に入っても自分の主張を堂々と述べるようになりました。ある意味で生意気な学生を育てたことは、教育上の貢献だったかもしれませんね。

斉藤 なるほど。教育については、あえて全て教えずに考えさせる、問合いの取り方の難しさがありますね。

浜田 僕が先生から習ったことは、みんなの考えから少し外れたことをどうしたら考えることが出来るのかということ、これが学問をやる上では重要だということとです。

斉藤 それは大学院の段階ででしょうか？

浜田 大学院になって急に出来るようになるわけではないですよ。

斉藤 大学でも高校でも、そういう問かけの部分が必要ですね。

浜田 僕が斉藤さんにお願したいのは、日本の英語教育と同時に発想の形を変えていくことです。

斉藤 日本の英語教育についてはどうお考えですか。

浜田 僕の両親は二人とも英語教師でしたが、その当時僕は英語が話せなくて、それで横須賀の米海軍大佐に英語を習い

ました。若い時に音感を鍛えるには、ネイティブの話す声を聞くのが一番重要です。以前、渡部昇一さんと対談しましたが、彼は文法をしっかりと教えるべきだという考えですね。僕もその点は賛成ですが、それだけでは使い物にならないですね。

斉藤 渡部昇一さんは大学の先輩にあたり、同じ山形出身です。

浜田 では一度是非三人で話しましょう。文法だけを覚えて、試験のために学ぶのではちっともおもしろくない。実践的に英語が使えるようにならないといけないのが目的になってしまっているのが残念です。

斉藤 今、海外に留学したいと考えている子どもたちと話しても、「MBAをとりたい」とか「いい会社に就職したい」という声を聞くのですが、もう少し学ぶこと自体の楽しさを感じてほしいなと思いますね。

浜田 そうですね。いろんな意味で海外にいくというのは、大変なことはいろいろありますが、見ず知らずのことを経験し、人間を成長させるという点ではとてもいいことです。

斉藤 就職する前に様々な国の人々と友情を育む経験が必要だと感じています。

浜田 国際社会では何か問題があれば、相手と交渉して説得します。今の外交でも、中国や韓国に対して、週刊誌などでも相手に伝わらないように反駁しても仕方ありません。望ましい方向に相手を動かすにはどうしたら良いのかという視点が大切です。

斉藤 私の主宰する英語塾でも先生のアドバイスを生かして中高生の英語力をどんどん鍛えていきたいと思っています。

J PREP カリキュラム

イエールやハーバードを目指して準備すれば、東大は当然のように合格します。



* SAT 2200 点は、アイビーリーグ大学受験に必要な点数の目安です。

** 英検 準 1 級は、国内難関大学入試とほぼ同等の難易度です。

J PREP では、一年間に一つずつレベルを登っていくカリキュラムを提供しています。現在の英語力を基準に実力にあったクラスを選びます。学年は全く関係なく、実力本位です。テストスコア次第で年度途中の昇級も行っています。

Level 1 - 4: 英語力増強のためのコア・カリキュラムです。毎回の授業でディクテーションの小テストが行われる他、録音課題の提出を通じた音声指導があります。

Level 5: 英語で教養を学ぶ授業です。2014 年度は主として数学、コンピュータ・プログラミング、国際関係論など自然科学および社会科学系の授業を開講します。豊富な語彙力をすぐに使える形で身につけることで、受験に必要な基礎力が万全になります。

Level 6 - 7: 国内受験、海外留学双方に対応した受験準備メニューを提供します。A コース: SAT や TOEFL の対策授業など海外留学に照準を合わせた指導を行います。B コース: 国内難関大学受験のための準備指導を行います。

J PREP KIDS 小学生向けカリキュラム

併設のアフター・スクール J PREP KIDS では、小学生向け英語クラスも開設しています。学童保育コア・カリキュラムでは毎日 30 分間の英語授業を通じ、確実に必要な英語力が身につく指導を行っています。週 2 時間の通塾生向けカリキュラムでは、音声だけでなく文法知識も自然に身につくように指導しています。お子様の年齢と学習歴にあわせて、適切な指導法を提供するように心がけています。

無駄な努力はさせません。効率良く、考え抜かれたカリキュラムで早く実力が伸びます

- 第二言語習得法の知見を最大限に活かしたカリキュラムです。
- 闇雲にネイティブと会話すれば英語力が伸びるわけではありません。
- ひたすら辞書を引きまくる、ひたすら和訳する、いずれも無駄な努力の筆頭です。
- 当塾では、動画教材を効果的に活用し、文法と語彙を文脈とセットで音声と共に覚えていく指導法を取ります。

受験に必要な学力を早期に固め、さらに上の実力を志す生徒のための英語塾です

- 応用言語学の成果をふんだんに取り入れ、学校の定期テストや国内大学入試でも好成績を収めるための対策を徹底しています。
- 9 回の授業に付き 1 回、塾内テストを実施し、成績優秀者を表彰しています。
- 毎回の授業で書き取りの小テスト、文法小テストを実施しています。
- 季節講習では文法や読解力を集中的に鍛えます。

将来に役立つ人間交流の場を提供します

- アイビーリーグの現役学生との交流会を実施します。また、著名な学者、経営者、ジャーナリストなどを招いてゲストレクチャーを実施して英語を学ぶモチベーションを高めています。

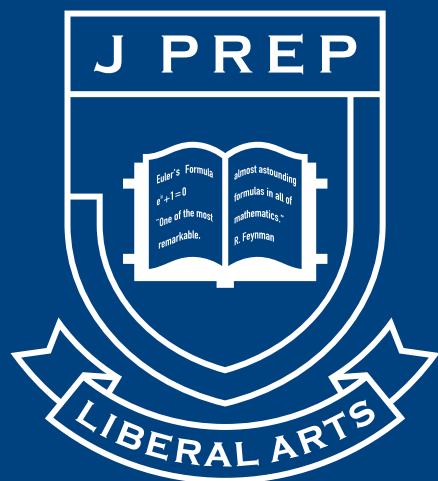
説明会参加のお申し込みはインターネットからどうぞ

SEARCH

J PREP

GO

日本の中学高校からアイビーリーグを目指す英語塾



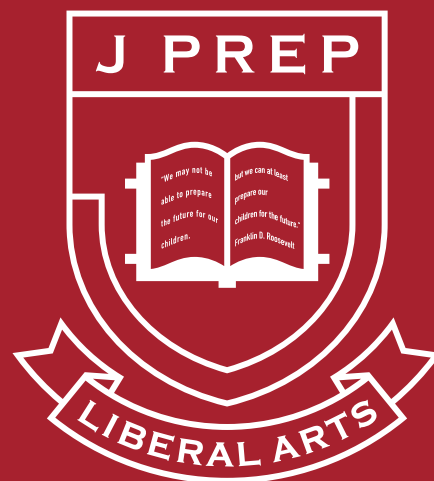
J PREP

斉藤塾

中学生 高校生対象

Phone: 03-6421-4777 Email: juku@jprep.jp

英語塾によるアフタースクール



J PREP

KIDS

幼稚園年長～小学生対象

Phone: 03-6421-1477 Email: kids@jprep.jp

<http://jprep.jp> 東京都目黒区自由が丘1-2-12